



Governor's Monthly Letter

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES OF DISTRICT 366

GOVERNOR : *J. Tamura*
 OFFICE : 4th Fl. Ozaki Bldg.
 : 5-20, Konya-Machi, Takatsuki City,
 Osaka 569, Japan.
 MAIL ADDRESS : Takatsuki P. O. Box No 49
 Osaka 569, Japan.
 CABLE ADDRESS : Interotary Takatsuki.
 TEL : 0726-83-6249

<COPY>

No. 3 Aug. 15, 1973 ガバナー 田宮 佐

a Time for Action!

第366区 各ロータリークラブ会長並びに幹事殿

Message of Governor

田宮 佐

R. I. 会長より私宛の書翰

地区ガバナー殿

親愛なるロータリアン諸君

R. I. 細則第13条5節(ハ)に規定されているように、地区ガバナーの任務について考えてみて下さい。これら任務のうち、最初の2項目が組織の強化に関するものであるのは偶然ではありません。これに関して、特に貴地区内の既存クラブの強化を助けるためのガバナーの責任についてこの手紙を書いています。

1973-74年度のガバナーや他のロータリーのリーダーの皆さんは「今こそ行動のとき」というターゲットのもとに、私と一緒に活動することを求められました。もし私たちがそのクラブや地域社会或は職業の中で、国際的にも、生活の質の向上を計りたいと思っているのなら、奉仕する意欲、能力、経験をもった指導力ある勝れた人々をメンバーに迎えるよう努力し続けなければなりません。

単に私たちの運動に人数を加えるためだけの会員増強は私には興味がありません。しかしほとんど例外なしに、既存クラブが完全に会員増強の可能性を極めつくしていないということも間違いないと存じます。ロータリー一年度始めの今こそ行動のときです。あなたがクラブを訪問し、彼らと話し合われるとき、どうぞあなたの最も重要

な任務のうちのひとつ…貴地区内の既存クラブの強化を援助すること…を見逃さないで下さい。

私が貴地区既存クラブの強化を強調していることを分かって下さるでしょう。私は新クラブ結成の望みを見落としているのでもなく又一究極的に一クラブ数増加に従って自然に生じる過程、すなはち地区の再編成を見のがしている訳でもありません。共にロータリー拡大において価値があり、やりがいがあることです。しかしながら新クラブ設立によつての地区増加に対するR. I. にかかる費用はかなりのものであります。そしてもしこの管理費が既存クラブ内の新メンバーから徴集する人頭分担金の増額分と見合わなくなり、又実際に超過するようなことになれば、我々の予算は破綻を来し、遠からず赤字状態に直面するでしょう。どうぞ今年は、効果的な内部拡大に全力を注ぐよう既存クラブを促すことによつて、ロータリーメンバー数の全体としてバランスのとれた、堅実な増加を保つようお力添えいただきたく存じます。

William C. Carter

三度カーター会長のターゲット について

カーター会長より前掲の様な手紙を戴きました。私宛に参りましたので或いは、私が身に浸透させて会長、幹事、諸氏と話合いながら、将来のロータリーを夢見ればよいのかもしれませんが。が、この手紙は非常に重大な意味を持ち、或いはロータリーの将来を左右する様な感かして敢て公開し 第366区のロータリークラブの会長、幹事である貴方をお願いすると共に、ともすれば誤解される事を恐れて私の一文を添える次第です。この手紙の内容は前号で皆様にお伝えした様に質の向上についての内容について述べています。現在の国際ロータリーには5月末現在15659のロータリークラブが所属し、その会員として約740,000人のロータリアンがおります。

更に過去1ケ年の間に世界中で310の新クラブが出来、過去3年の間に15の地区が出来ました。正に驚異とも云うべきロータリーの発展であります。この状態で増加して行けば今後、何年かの間には膨大なクラブ数となって行く事でしょう。実に喜ぶべき事であります。ここでカーター会長の云う「質」、つまりクラブの内容の問題を考えるべきでありましょう。我々は人頭分担金として、年間8ドルの金をR.I. に送っています。この金は年間約6000,000ドルの金額となってR.I. に入る事になります。この金がまともにR.I. に入るのでありましたら、まず平穏無事とも云うべきでありましょうが、外国には政治的な理由を以って、自国の金を国外に持出させない。つまり、資金が凍結されているとしたらどうなるでしょう。運転資金は38ヶ国の銀行に38ヶ国の貨幣となって預金されています。そして、20ヶ国に財務代行者がいて、その金を管理していますが、R.I. に金が入らないとしたら、R.I. の会計は苦しくなる事は当然であり、その上クラブ数が増えたとしたら地区分割が行われ、分割が行なわれたなら、当然そこにガバナーを置き、ガバナー事務所を設ける事になります。これに対してR.I. は資金を投入しなければなりません。又、新しい地区のガバナーノミーを国際協議会に召集しなければなりません。その費用も必要です。詳細の費用をお知らせしたいのですが紙面が許しません。ザ・ロータリアンの6月号をお読み下さい。クラブが増加する結果として地区が増加するのは当然ですがこのクラブの内容が最少人員の20名を

割るとしたらどうなるでしょう。人頭分担金は少い割に出費だけは一人前としたらその上凍結資金があるとしたらカーター会長の云うロータリーの財産に危機が当然来る結果となります。資金が苦しければ人頭分担金を増せばよいではないかと云う疑問の起るのは当然だと思います。対外為替が日本の様な国ばかりではありません。インフレは日本ばかりではありません。たったその理由のために仲間を失う事は出来ません。其の他R.I. には人頭分担金を増加出来ない苦しい理由もあるでしょう。カーター会長の云う質の向上という言葉の通り弱体なクラブの増加は避けなければなりません。会長さん、幹事さん、もう一度貴方のクラブを見て下さい。ロータリー意識の低下した会員は将来のロータリーを危くします。意識を向上する様努力して下さい。会員数の少い所は強力な仲間を探して下さい。将来有望な新しいクラブを作れるところはすぐにとりかかって下さい。恐れてはいけません。

A TIME FOR ACTION の年です。

R.I. だより News of R.I.

* 優秀な寄付成績に対する 追加補助金の改正

Revision of Eligibility for Educational Awards

ロータリー財団管理委員会は、毎年、ロータリアン1名当りの寄付額が指定の金額を超える地区に対して教育補助金を追加支給することになっております。1968～69年度当時の会員1名当りの平均寄付額は、米貨3ドル以下でしたが、年々増加し、現在は米貨6ドルに増えております。然し反面、教育補助金2口並びにその他の財団活動の維持に要する額も平均地区内会員1人当たり6ドル50セントに増加しました。そこで委員会は1973～74年度の寄付記録をもって授与する追加補助金の基準を次の表の如く改正しましたのでお知らせいたします。尚、1972～1973年度に追加分を受領する資格を得た地区には9月頃に通知がくることになっております。